

コロナ禍で分断された世界をつなぐ。

NPO 法人 DEAR ME が 2 年ぶりにフィリピン マニラで 貧困地区の子どもたちとファッションショーを開催！

ファッションで社会課題の解決を目指す NPO 法人 DEAR ME は、2015 年よりフィリピンのマニラ首都圏にある貧困地区の子どもたちと共に夢を描くファッションショーを開催して参りました。新型コロナウイルスの影響により、2020 年の 2 月に 7 回目のショーを開催して以降、活動休止を余儀なくされていましたが、約 2 年半ぶりに 2022 年 6 月、フィリピン マニラにて第 8 回目のファッションショーを開催いたします。



【プロジェクト背景】

当団体のフィリピンでの活動拠点は、マニラ首都圏内のケソン市にある「パヤタス」と呼ばれるエリアです。パヤタスは巨大なゴミ処分所があることで有名でした。2017 年にゴミ山自体は閉鎖されていますが、現在も、パヤタスから離れたモンタルバンというゴミ集積場に通り、収集したゴミを販売して生計を立てるスカベンジャーとして働く人々もいます。パヤタスで暮らす人々の平均収入は 1 日 100 ペソ～300 ペソ（日本円で約 250 円～約 750 円）と、大半の人々が極めて貧困状態にあります。※1

当団体はこのような地域に暮らす子どもたちと 2015 年から過去 7 回、ファッションショーを開催して参りました。

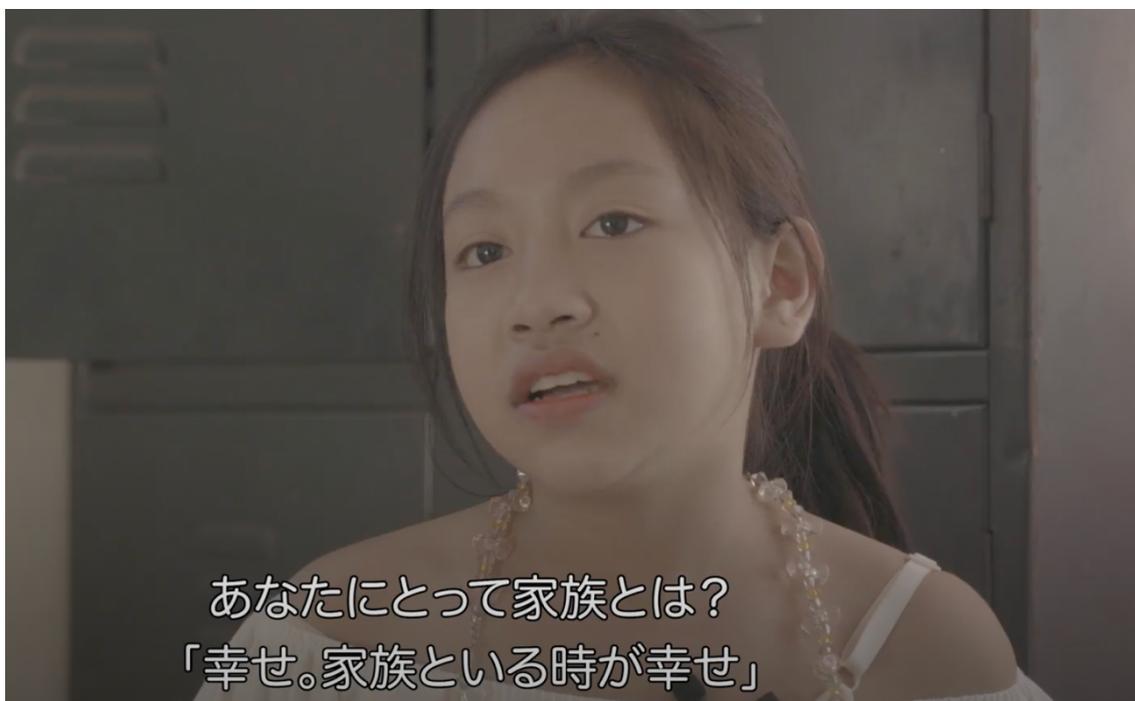
ファッションショーのテーマは、「ランウェイの上で夢を描く」。「ランウェイを歩くように、

みんなで胸を張って人生を歩んでいこう」という想いを込めています。

2020年のファッションショーでは、マニラ首都圏のバゴンシーラン・エルミタ・ビノンド地区の子どもたちもモデルとしてファッションショーに出演。露天商として路上で物を売り生計を立てる子どもたちや、都心部でストリートチルドレンとして暮らす子どもたちも、ランウェイの上で素晴らしいステージを披露してくれました。

※1 [NIKKEI Asia 2017年記事](#)

【「Our Life, Our Runway」今回のショーに込めた想い】



ファッションショーの Teaser 動画（予告動画）の一部

新型コロナウイルスの影響で社会や世界はより分断され、子どもたちの娯楽も少なくなっ
てしまったと思います。このような状況下の中、2022年6月に開催するファッションショ
ーのテーマを「Our Life, Our Runway.～一人一人の歩く人生こそがランウェイ～」にしま
した。今回のテーマにはフィリピンの子どもたちだけでなく、世界中の人々に届けたいメッ
セージを込めました。

①ひろがる格差

当団体の活動地域では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため厳しいロックダウン施
策が敷かれました。その影響で子どもたちは学校に通うことができず、貧困地区ではインタ

ーネット環境も乏しいためオンライン教育も受けることもできませんでした。また、日雇い労働者が多いため、子どもたちの親の多くが仕事を失いました。

フィリピン統計庁によると2021年上半期、必要な食料などを買うことができない「貧困層」の割合は23.7%。※2 民間の大手調査機関「SWS」の調査によると、自身の家庭を「貧困」と答えた割合は43%と格差が更に広がっています。※3

※2 [フィリピン統計庁 2021年調査](#)

※3 [Social Weather Station 2022年調査](#)

格差が広がり先行きが見えない日々を送ってきたフィリピンの子どもたちと改めて、一緒にランウェイの上で夢を描くことで、未来への希望につながるファッションショーを共創します。

②先行きの見えない未来に不安を覚える若者へのメッセージ

2022年に開催した第7回目のファッションショー後、世界を新型コロナウイルスの脅威が襲い、当団体は2015年より毎年行っていたファッションショーの中止を余儀なくされました。

新型コロナウイルスの影響で、私たちのように、閉ざされてしまった挑戦や先行きの見えない日々不安を覚えた人々もたくさんいたはずです。

また、新型コロナウイルスの影響で、世界中の至るところでヘイトクライムが起きたり、経済不況で格差が深刻化したりと世界が分断されています。

再始動する今回のショーでは、フィリピンの子どもたちだけでなく、世界中の人々へ、「共に胸を張って自信を持って生きていこう」というメッセージを伝え、分断された世界を夢で繋ぐファッションショーをみんなで共創していきます。

【第8回ファッションショー概要】



ファッションショーの Teaser 動画（予告動画）の一部

日時・場所

2022年6月17日(金)

モデルとなる子ども：ディビソリア、エルミタ、ビノンド地区の子どもたち 16名

場所：フィリピン マニラ首都圏 マニラ

連携団体 CHILD HOPE 運営 CHILD HOPE オフィス

2022年6月18日(土)

モデルとなる子ども：パヤタスに住む子どもたち 10名

連携団体 、国境なき子どもたちフィリピン運営「若者の家」で暮らす子どもたち 7名

場所：フィリピン マニラ首都圏ケソンシティ パヤタス

国境なき子どもたちフィリピン運営パヤタスセンター

2022年6月20日(月)

モデルとなる子ども：バゴンシーランに住む子どもたち 10名、

場所：フィリピン マニラ首都圏ケソンシティ バゴンシーラン

※日程・場所は急遽変更の可能性がございます。

発信

上記で開催するファッションショーは、弊団体の SNS 上でライブ配信する予定です。
また、ファッションショーのプロモーション動画を作成し、7月中旬を目安に公開する予定です。

(各種 SNS は下部の団体概要をご覧ください。)

「サステナブルファッション」を取り入れたプログラム

① 「Love myself」ステージ

子どもたちに事前に描いてもらった夢の衣装をもとに、有志のボランティアの方々に衣装を製作していただきました。衣装で使用した素材は、本来アパレル企業が廃棄する予定であった服を株式会社ウィファブリックより提供していただき、地球環境に配慮したモノづくりを行いました。



左：本来廃棄される予定だった服



右：子どもがデザインした絵を元にアップサイクルして製作したワンピース

② 「Speak out your dream」ステージ

当団体スタッフが制作したオリジナル T シャツを着用し、子どもたちにステージ上で自分の夢を発表してもらうステージです。オリジナルTシャツは左側にフィリピンの街並みを、そして右側にはビルが立ち並ぶ日本の風景をイメージしており、それを橋で繋ぐことで「フィリピンと日本は繋がっている」という意味がこめられたデザインにしました。



当団体制作のオリジナル T シャツ

③ダンスステージ

【協賛企業について】

株式会社ウェブシャーク

yogibo
S O C I A L G O O D

快適すぎて動けなくなる魔法のソファ「Yogibo」を展開する株式会社ウェブシャーク。当プロジェクトは、同社の「TANZAQ」協賛先に採択されています。TANZAQ プロジェクトとは Yogibo がスポンサーとして、社会課題に取り組む団体に広告を出稿することで、持続的な社会課題の解決を共に目指すプロジェクトです。本プロジェクトの一環として、Yogibo 公式オンラインストアから DEARME 専用の SOCIALGOOD クーポンを入力いただくと、売上の 5%が広告費として当団体のフィリピンの活動に支払われます。

▼NPO 法人 DEAR ME 専用クーポンコード

NPDR

▼Yogibo 公式オンラインストア

<https://bit.ly/3pZd36J>

▼株式会社ウェブシャーク

<https://www.webshark.co.jp/>

【衣装協力について】

株式会社ウィファブリック



EC サイト版のアウトレットモール「SMASELL (スマセル)」を運営する、株式会社ウィファブリック。

=株式会社ウィファブリック 執行役員 CMO 藤本恵子様からのコメント=

服を通してフィリピンの子供たちと夢を描くこの活動に共感し、本取り組みに参加させていただきました。ショーだけに留まらず、教育から事業に至るまで、現地の子供たちの将来を考えた一貫した活動にも、我々が思い描く持続可能性との親和性を感じています。

今回は、子どもたちのオリジナル衣装制作のため、同社の洋服を 32 着、協賛させていただきました。

▼株式会社ウィファブリック

<https://www.wefabrik.jp/>

【協業 NGO 団体について】

国境なき子どもたち



貧困の連鎖を断ち切り、ストリートチルドレンや支援の対象になりにくい困難な状況にい

る子どもたちを支援する国際 NGO 団体。2015 年のファッションショーから、継続的に協力いただいております。今回のファッションショーでは、KnK Philippines の支援下の子どもたち、合計 27 名が参加予定です。

▼国境なき子どもたち

<https://knk.or.jp/>

CHILD HOPE



1986 年よりストリートチルドレンの生活改善と人権保護の活動を行う NGO 団体。2020 年のファッションショーから協力いただいております。今回のファッションショーでは、CHILD HOPE の支援下の子どもたち、合計 16 名が参加予定です。

▼CHILD HOPE

<https://childhope.org.ph/>

【NPO 法人 DEAR ME】

2015 年に神戸の学生団体として発足し、2019 年 7 月に NPO 法人化。「ファッションと夢で共に創る未来への循環」をビジョンに、ファッションを通して持続可能な社会創りを目指す。2015 年より計 7 回ファッションショーを開催。今後フニリピで、描いた夢に向かって努力できる環境を創るため、ファッションスクール「coxco Lab (ココラボ)」を開校予定。

ウェブサイト：<https://npodearme.com>

インスタグラム：https://www.instagram.com/dearme_fashion/

Tiktok:https://www.tiktok.com/@dearme_fashion3

Youtube:<https://www.youtube.com/channel/UC6MH0kQMPLlAy5bCiWENtPg>

Facebook:<https://www.facebook.com/dearme2015/>

Twitter:https://twitter.com/dear_me_fashion

【本資料に関するお問い合わせ】

特定非営利活動法人 DEAR ME

代表理事 西側/理事 小村

Mail : info@npodearme.com